

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/



JF
香川漁連

高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

ノリ着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長 西口正弘)は去る9月9日(月)から9月12日(木)にかけて平成25年度ノリ着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、ノリ養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、ノリ養殖指導指針や酸処理剤の取扱要領並びに乾海苔共販対策等を直接生産者に周知するため、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度も県内3地区で開催し、ノリ養殖業者並びに漁業関係者が出席した。



挨拶する西口会長

- | | |
|----------|-----------------|
| 9月9日(月) | 小豆地区
オーキドホテル |
| 9月11日(水) | 東讃地区
ベッセルおおち |
| 9月12日(木) | 高松・中讃地区
漁連会館 |

検討会では「平成25年度ノリ養殖指導指針について」、「平成25年度酸処理剤取り扱い要領について」、「平成25年度水温・栄養塩の動向について」その他として、「ノリ養殖等に向けた漁場環境情報の提供」、「平成25年度商社訪問報告」、「ノリ養殖漁場高度管理計画」の説明が行われた。

検討会終了後各会場において「乾ノリ消費動向について」、「香川県産乾ノリの評価・改善点について」をテーマにそれぞれ講演が行われた。

「小豆地区」

講師 小浅商事(株)大阪支店長 加藤太一氏

「東讃地区」

講師 (株)白子 仕入担当課長 島 律夫氏
「高松・中讃地区」

講師 松谷海苔(株)代表取締役 松谷 晃氏



高松・中讃地区 松谷社長の講演

さぬき海の幸販売促進協議会開催

平成25年度第2回さぬき海の幸販売促進協議会が9月3日(火)に漁連会館にて開催された。会議では7月16日に選ばれた「香川おさかな大使」北村公美さん、後藤美波さん、中條文鈴さんに、服部会長より委嘱状が渡された。



左から北村公美さん、後藤美波さん、中條文鈴さん
大使としての活動はすでに始まっており、「香川のおいしい魚を、多くの人に知ってもらえるように頑張ります。」と抱負を語った。

また、平成25年度事業計画等について協議され、昨年度に引き続いて「さぬき海の幸販売促進事業」に取り組み、ハマチ、ノリ、イリコをはじめ、ナシフグ、タコ、サワラ等の県内水産物の消費拡大、知名度向上を一層推進するため、各種イベントに参画

して効果的にPRを行うこととなった。



挨拶する服部会長

各事務局より本年度の活動計画概要が下記の通り報告された。

総務・食育グループ「PR イベント事業」

ハマチ・ノリ・イリコをはじめ、サワラ、タコ、讃岐でんぶくなどの県産水産物の消費拡大、知名度UPを一層推進するため、各種イベントに参画してPRを行う。

イベントについては、県内各地で開催されるイベントにおいて、参加条件等を検討のうえ、PR効果が高いと考えられるものに参加する。

10月 5日 海の幸ふれあい市場オープニングイベント

10月27日 たかまつ市場フェスタ

11月 2日 中讃 秋のびちびちとれたて市

12月13日～15日 食の大博覧会

総務・食育グループ「水産食育事業」

県産水産物の販売促進や一般家庭で活用できる家庭地魚料理の普及のため、ハマチ、イリコ、ノリ、カキ、タコ、サワラ等を食材とした水産食育教室等を開催するとともに、県産水産物を紹介するテキストを作成し、おいしさや料理法を情報発信する。

〈水産食育教室〉

10月 香川短期大学

12月 多度津高校

12月18日 高松工芸高校

ハマチグループ「ハマチ等ブランド化事業」

ブランドハマチのさらなる普及と、県産水産物の消費拡大、ブランドイメージの確立。これまでの活動に加え、販促物作成と配布の強化。また、本年度はさぬき蛸のPRを計画しており、タコの販促物を揃える。

ハマチグループ「県内・近県フェア事業」

県内、及び近県で「県産ハマチ」を中心に県産水産物の消費拡大を目的とした販売促進フェアの実

施。販促物の配付等実施。

・県内

県内の量販店、さぬき蛸、讃岐でんぶく試食販売。

・近県（中四国）

岡山県、徳島県、愛媛県、高知県等においてハマチ3兄弟の販売促進フェアの実施。

ハマチグループ「県外フェア事業」

県産ブランドハマチを中心とした県産水産物の、県外での消費拡大を目的とした販売促進フェア等を実施する。

・首都圏

東信水産他

・京阪神地域

阪神百貨店他

ハマチグループ「流通懇談会事業」

水産物の大消費地である首都圏及び京阪神地区で「県産ブランドハマチ」を中心とした県産水産物の消費拡大を目的に懇談会を開催し、本県水産関係者と当地の卸売市場及び量販店関係者が意見の交換を行う。

また、懇談会に先立って、香川おさかな大使による市場キャラバンを行う。

PRキャラバン

・首都圏10月29日(火)で計画

・京阪神11月中旬で計画

ハマチグループ「海外輸出事業」

海外で県産ハマチを中心とした県産水産物の販路拡大、消費拡大を図る。

ノリ・イリコグループ「香川ノリPR事業」

香川県産ノリの販売促進と、消費者の知名度向上、生産技術の一層の向上を図るため、①初摘みノリ香川県産ノリ認証制度の充実及び認証商品の販売促進、②新ノリ祭りの開催、③香川産ノリのPRイベントの開催、④品評会の実施等、各種の取組みを行う。

11月 ノリ消費拡大PRイベント

1月下旬 新ノリ祭り

2月 香川県産ノリ品評会

ノリ・イリコグループ「イリコブランド化・商品開発事業」

地域団体商標（地域ブランド）として登録された「伊吹いりこ」の知名度向上を目指した活動を実施するとともに、商標等の管理にかかる指導を行う。

また、県産イリコの消費拡大を図るため、関係団体と連携した取組みや、新たな商品の開発を行う。

11月 実りのフェスティバル

〃 中讃 秋のびちびちとれたて市

12月 観音寺・伊吹いりこ祭り

瀬戸内海の再生豊かで美しい里海をめざして

平成25年10月に、瀬戸内海環境保全特別措置法が制定されて40年になることから、9月7日(土)にサンポート高松・大ホールにて瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年記念式典「瀬戸内海の再生 豊かで美しい里海をめざして」が、主催環境省、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、公益社団法人瀬戸内海環境保全協会にて開催され、瀬戸内海沿いの自治体の首長や漁業関係者ら約1,000人が出席した。

主催者を代表して井上環境副大臣、井戸兵庫知事が挨拶し、その後、瀬戸内海環境保全功労者表彰、瀬戸内海フォトコンテスト優秀作品賞贈呈等が行われた。

「瀬戸内海の再生 豊かで美しい里海をめざして」と題したシンポジウムでは、基調説明として松田広島大学名誉教授から主旨説明、浜田香川県知事より香川の里海づくりについて、岡市香川大学名誉教授から「瀬戸内海の環境保全40年」と題した基調講演が行われた。講演の中で、環境省による施策と各府県の協力で、1989年のCODの負荷量は838t/日に削減され、現在赤潮の発生件数は120件程度に減少している。ただ、漁獲量の減少、海ゴミの問題など新たな問題が発生していることを指摘していた。



パネルディスカッション

休憩を挟みパネルディスカッションが行われた。パネリスト・コーディネーターは下記のとおり。

パネリスト

(行政) 井手敏三 (兵庫県知事・瀬戸内海環境保全知事・市長会議議長)

浜田恵造 (香川県知事)

(学識者) 岡市友利 (香川大学名誉教授)

柳 哲雄 (九州大学名誉教授)

(団体) 服部郁弘 (香川県漁業協同組合連合会)

(団体) 足利由紀子 (NPO法人水辺に遊ぶ会理事長)
コーディネーター

松田 治 (広島大学名誉教授)

パネルディスカッションでは、漁業者を代表して服部香川県漁連会長より「我々漁業者は休漁日を設定し、小型魚を再放流するなど資源管理型漁業や栽培漁業を積極的に推進しているが、その努力にもかかわらず、漁獲量は減少している。瀬戸内海で多様な漁業が継続できるよう、国には適正に水質管理を継続していただきながら、豊かな瀬戸内海の活性化が図られることを望んでいる」と漁業者の思いを伝えた。

この後、豊かで美しい瀬戸内海を次世代に引き継ぐ瀬戸内海里海宣言が採択され、最後に「海」を会場全員で合唱し閉会となった。



香川のゆるキャラ大集合

さぬき蛸を全国へPR

キリンビールが全国で展開する、「選ぼうニッポンのうまい! 2013」のプレゼントキャンペーン香川県版の記者発表が、浜田香川県知事、原香川県漁連専務、キリンビールマーケティング(株)香川支社平井支社長が出席し9月11日(水)高松市兵庫町の天勝本店で行われた。

香川県では、昨年のタイラギ貝に続き今年度はさぬき蛸がピックアップされた。蛸の漁獲量は平成23年では1,349tで全国3位。また、高松市での世帯あたりの消費量は全国1位となっている。

キリン対象商品に付いている応募券6枚を1口として応募すると、さぬき蛸の空揚げやタコ飯などが味わえる「さぬき蛸セット」が全国で600人の方に当たる。応募期限は10月31日(木)まで当日消印有効。

記者発表当日は、おさかな大使の後藤さんと北村さんが、会場内にてさぬき蛸のあぶり焼きやしゃぶしゃぶの美味しさをPRしていた。



こんにちは、坂出税関です

1. 「薬物及び銃器取締強化期間」の実施！！

実施期間:平成25年10月1日(火)から10月31日(木)

神戸税関坂出税関支署では、上記の期間、不正薬物や銃器に対する重点的な取締りを実施します。日常業務等において、「おかしげな？」と思うことがありましたら、どんな小さな情報でも、坂出税関支署、又は最寄りの税関出張所、若しくは24時間対応の密輸フリーダイヤル(0120-461-961)まで通報していただきますようご協力をお願いします。皆様からの小さな情報ひとつひとつが、香川県の安全につながります。

『おかしげな?』と思われる例

- ・漁具を積まずに出港したり、シケの日や夜間に出入りする等不審な行動をとる船舶を見かけたとき
- ・何か貨物が入っているような漂流物・漂着物を見つけたとき
- ・外国の船と頻繁に無線で交信をとっているあるいは沖合に向かって信号を送っている船を見かけたとき



2. 神戸税関管内における最近の摘発状況！！



<神戸港で大量の覚醒剤摘発!!>

薬物及び銃器取締強化期間中の本年5月、神戸港に到着したメキシコ合衆国米コンテナ輸入貨物内から、模造鉄鉱石182個の中に極めて巧妙に隠匿された大量の覚醒剤(計約194キログラム)を摘発しました。



<岡山空港で覚醒剤摘発!!>

昨年12月、中国・上海の空港から岡山空港に到着した航空機の入国旅客に対する携帯品検査において、覚醒剤1,942グラム(薬物乱用者の通常使用量で、約6万5千回分)を摘発しました。

密輸フリーダイヤル **0120-461-961** (24時間365日受付)

【坂出税関支署】 0877-44-9211 坂出市入船町1-6-10

【高松出張所】 087-851-2874 高松市朝日新町1-30

【丸亀出張所】 0877-23-7696 丸亀市蓬萊町32-1

【詫間出張所】 0875-83-3071 三豊市詫間町詫間1328-9